

# 2021年度事業報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

認定特定非営利活動法人ヒカリカナタ基金

## 1 事業実施の成果

2021年度については、ポストコロナを見据えた経済的、社会的な取り組みを世界各国が進めていく中、我が国でもワクチン接種の進展に伴い、徐々に自粛ムードが緩和され消費活動の持ち直しが見られるようになりました。内閣府による調査では、全都道府県で緊急事態宣言が解除された10月以降、外食、旅行等を中心としたサービス消費が上向いており、個人消費マインド改善を裏付ける形になりました。

しかし、2022年に入ると新型コロナウイルス変異株（オミクロン株）の流行による感染再拡大や、ロシアのウクライナ侵攻と、欧米諸国による経済制裁の影響から、世界的な貿易取引の制限と輸出入価格の高騰が生じ、業績改善の兆しが見えかけた日本経済は、見通しが立たない停滞感の中で年度末を迎えることとなりました。

本基金の活動についても、前年に引き続き海外に赴いての活動は全くできませんでした。活動対象国の、モンゴル、キルギス、ミャンマー、ネパール、カンボジア各国に於いても、日本同様、コロナの影響も出入国が自由にできない状況が続いております。

そのような状況の中ではありますが、キルギスとカンボジアについてはどうにか現地スタッフによって事業を実施していただき、多くの子供達の視力を改善することが出来ました。

また、国内事業については、毎年恒例の『点字ブロックの日制定12周年記念事業』は多数の支援者の協力により3月18日に啓発活動を行い、20日に式典と記念講演会を開催することが出来ました。また、この活動は、民放各社によって広く岡山県内に放送され、点字ブロックの大切さを広く告知することが出来ました。

同じく点字ブロックの啓発活動の一環として継続しています『点字ブロックの上や近くに物を置かないで』という啓発ステッカーの配布については、SNSを活用しながら推進しております。

人権擁護、又は生活向上の推進を図る事業として、竹内理事長の障害者の人権講演活動についてもコロナ禍の影響で、例年では年間100件程度あった講演会も激減し、一件当たりの受講者も従来は150人平均だったものが、50人程度になり、全国15か所の開催で終わりました。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額(千 円)
国内外の視覚 障がい者の視 力の改善に関 する事業	キルギス小児眼科医療 プロジェクト 現地スタッフとの連 携による事業	2021年 5月～	キルギス ビシュケ ク med.center .kg	6人	小児眼科 患者 3人	295
国内外の視覚 障がい者の視 力の改善に関 する事業	モンゴル小児眼科医 療プロジェクト	2021年 6月～	モンゴル国立 母子病院	4人	小児眼科 患者 3人	123
国内外の視覚 障がい者の視 力の改善に関 する事業	キルギス小児眼科医療 プロジェクト 現地スタッフとの連 携による事業	2021年 6月～9月	キルギス ビシュケ ク med.center .kg	6人	小児眼科 患者 10人	920
国内外の視覚 障がい者の視 力の改善に関 する事業	カボジア小児眼科医 療プロジェクト 認定 NPO法人ジャパン ハートと共同で事業 を行う	2021年 ～	カボジア カタスタケ 眼科病院	6人	小児眼科 患者 47人	1,623
国内外の視覚 障がい者の視 力の改善に関 する事業	カボジア小児眼科医 療プロジェクト 認定 NPO法人ジャパン ハートと共同で事業 を行う	2021年 4月～12月	カボジア Children's Surgical Center	5人	小児眼科 患者 39人	1,329

国内外の視覚障がい者の視力の改善に関する事業	キルギス小児眼科医療プロジェクト 現地スタッフとの連携による事業	2021年11月～ 2022年3月まで	キルギス ビシュケク med.center .kg	6人	小児眼科 患者 11人	958
点字ブロックの普及推進、及び啓発事業	点字ブロックの日制 定12周年記念啓 発活動	2022年3月 18日	JR 岡山駅 西口東西 連絡道路 東詰	50人	一般市民 200人	100
点字ブロックの普及推進、及び啓発事業	点字ブロックの日制 定10周年記念式 典と講演会	2022年 3月20日	岡山国際 交流セン ター	50人	一般市民 150人	291
点字ブロックの普及推進、及び啓発事業	点字ブロックに係る あらゆる啓発ステッ カを配布する	通 年	全国各地	60人	一般市民 5,000 人	275
点字ブロックの普及推進、及び啓発事業	全国の各自治体 に避難所用携帯 用点字ブロックを普 及する	通 年	全国各地	10人	該当地の 視覚障害 者 約100 人	100
障がい者の人権擁護、又は生活向上の推進を図る事業	竹内理事長によ る人権講演会	通年	全国各地 15か所	3人	全国 750人	0

子供のいじめ問題の抑制と自殺防止の推進事業	文部科学省選定社会教育教材映画の上映会推進事業	通年	岡山県内外 8か所	6人	一般市民 約400人	100
国内外の視覚障がい者教育施設への支援と関係団体との連携事業	モンゴル視覚障害者協会と連携し、視覚障がい者職業訓練学校への教育指導	通年	モンゴル ウランバートル	3人	学校職員 15人	0

活動計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	150,000	
賛助会員受取会費	233,000	383,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	10,630,654	10,630,654
3. その他収益		
受取利息	6	
雑収入	100,002	100,008
経常収益計		11,113,662
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
広告宣伝費	50,000	
業務委託費	53,100	
印刷製本費	173,129	
消耗品費	3,527	
賃借料	22,000	
寄付金 (キルギス事業費)	2,155,086	
寄付金 (カンボジア事業費)	2,952,827	
寄付金 (モンゴル事業費)	123,000	
点字ブロック事業費	390,969	
租税公課	4,660	
支払手数料	11,485	
減価償却費	175,120	
その他経費計	6,114,903	
事業費計		6,114,903
2. 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
印刷製本費	299,805	
会議費	120,746	
旅費交通費	14,708	
通信運搬費	129,049	
消耗品費	225,272	
管理諸費	750,438	
租税公課	2,400	
支払手数料	34,270	
雑費	291,082	
その他経費計	1,867,770	
管理費計		1,867,770
経常費用計		7,982,673
当期経常増減額		3,130,989
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
V 経理区分振替額		
経理区分振替額		
当期正味財産増減額		3,130,989
前期繰越正味財産額		6,759,459
次期繰越正味財産額		9,890,448

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,760,060		
未収金	10,000		
流動資産合計		9,770,060	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	262,680		
有形固定資産計	262,680		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		262,680	
資産合計			10,032,740
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	142,292		
流動負債合計		142,292	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			142,292
III 正味財産の部			
1. 正味財産			
前期繰越正味財産		6,759,459	
当期正味財産増減額		3,130,989	
正味財産合計			9,890,448
負債及び正味財産合計			10,032,740

特定非営利活動法人ヒカリカナタ基金

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 NPO法人会計基準協議会）によっています。同基準では、特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

7. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科 目	期首取得価額	取 得	減 少	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産					
什器備品	437,800	0	0	175,120	262,680
合計	437,800	0	0	175,120	262,680

財産目録

令和4年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	210,569		
郵便振替	8,946,502		
楽天銀行／普通預金	602,989		
未収金	10,000		
流動資産合計		9,770,060	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	262,680		
有形固定資産計	262,680		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		262,680	
資産合計			10,032,740
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	142,292		
流動負債合計		142,292	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			142,292
正味財産			9,890,448



## 前事業年度の年間役員名簿

(2021年4月1日から2022年3月31日)

認定特定非営利活動法人ヒカリカナタ基金

No.	役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
1	理事長	竹内 昌彦		2021年4月1日～ 2022年3月31日	報酬無し
2	副理事長	谷口 真吾		2021年4月1日～ 2022年3月31日	報酬無し
3	同	竹内 直人		2021年4月1日～ 2022年3月31日	報酬無し
4	理事	中川 美登里		2021年4月1日～ 2022年3月31日	報酬無し
5	同	逢澤 俊枝		2021年4月1日～ 2022年3月31日	報酬無し
6	同	吉原 洋二		2021年4月1日～ 2022年3月31日	報酬無し
7	同	松浦 広司		2021年4月1日～ 2022年3月31日	報酬無し
8	同	近藤 勝彦		2021年4月1日～ 2022年3月31日	報酬無し
9	同	岩本 達也		2021年4月1日～ 2022年3月31日	報酬無し

10	同	藤田 文雄		2021年4月1日～ 2022年3月31日	報酬無し
11	同	松田 奈緒		2021年4月1日～ 2022年3月31日	報酬無し
12	同	宮本 憲男		2021年4月1日～ 2022年3月31日	報酬無し
13	同	伊達 元英		2021年4月1日～ 2022年3月31日	報酬無し
14	監 事	松本 達哉		2021年4月1日～ 2022年3月31日	報酬無し
15	監 事	安田 寛		2021年4月1日～ 2022年3月31日	報酬無し

【備考】

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 2 「役職名」の欄には、理事、監事又は理事の職名を定めている場合はその職名の別を記載する。
- 3 「住所又は居所」の欄には、各役員住所又は居所を証する書類の記載どおりに記載する。
- 4 「就任期間」の欄には、左に記載された役員全員についてそれぞれ記載し、「報酬を受けた期間」の欄については、報酬を受けたことがある役員はその期間を、報酬を受けなかった役員については「報酬無し」とそれぞれ記載する。